

「高齢者の不眠治療における“Z- drugs”」を講演しました。

医療法人水明会佐潟荘 医局

平成 29 年 12 月 19 日 (火)、ルネスタ発売 5 周年記念講演会 (場所：新潟グランドホテル、主催：エーザイ株式会社) に参加しました。当院の北村医師が一般演題として、『高齢者の不眠治療における“Z- drugs”—転倒・骨折のリスクに注目して』を発表しました。Z-drugs は、Z が語頭に付く zolpidem、(es)zopiclone といった非ベンゾジアゼピン系睡眠薬の俗称ですが、GABAA 受容体サブユニットへの結合特性が BZD と異なることから、主作用および副作用の双方の点で BZD と (おそらく量的に) 異なる可能性が示唆されてきました。講演では、BZD と Z-drugs の骨折リスクを比較したメタ解析を紹介しました。特別公演は、東京医科大学 睡眠学講座の井上雄一教授による『睡眠薬の効果・有害事象を視野に入れた治療のあり方』でした。睡眠総合ケアクリニックの理事長でもある井上先生は、ご自身の多数の研究論文と豊富な臨床経験から、睡眠障害の疫学から病態を解説された後、不眠症のための認知行動療法 CBT-I を含む治療論について、科学的エビデンスに基づく臨床現場で実施可能な見解を示されました。